



全カ一心

No.22

令和3年12月 3日

「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責；校長 三橋正洋

「命の日」～命は自分に与えられた時間

先月19日(金)は11月の「命の日」でした。今回は、養護の先生が献血のお話をしていただきました。献血は命を助けるボランティア。小学生の今はできないけれど、この話を家の人に話したり、近い将来、献血できる年齢になった時に備えて、好き嫌いをなくバランスの取れた食事を心がけたりして、命を助けるボランティアに協力していこうという内容でした。子どもたちはいつものように、みんな真剣に聞いて、自分なりのコメントを書き記していました。＊このコメントの一部を紹介します。文や文字の修正がある箇所があります。



- ・命の血は、健康なことをすればできる。好きなものばかりを食べない。健康な血をつくろう。【1年】
- ・今日の話を聞いて、16才から献血ができることを初めて知りました。ぼくも16歳になったらやってみたいです。【2年】
- ・甲斐先生が献血を28回もしたと聞いて、わたしも大人になったら献血をできるように、いっぱい食べて、いっぱい遊んでいきたいと思いました。【2年】
- ・わたしも野菜をたくさん食べて、きれいな血にして、他の人の命のボランティアをして、いろいろな人の命を救おうと思いました。【3年】
- ・話を聞いて、献血は16才(高1)からしか参加できないということがわかりました。だから私たちにできること、①おうちの人に伝えること ②好き嫌いなく食べること、これらの2つを守っていききたいです。甲斐先生のようなりっぱな大人になりたいです。【4年】
- ・甲斐先生は28人の人の命を救ったと同じなので、すごいなと思いました。ぼくも大人になったら、血液が必要な人にあげたいと思いました。【5年】
- ・「命を助けるボランティア」の話を聞き、わたしは、これからしょうぶで健康なからだをつくり、16才になったら献血をして、少しでも多くの人の「命」を助けていききたいです。【5年】
- ・献血をすることで、だれかの「命」が助かることを学びました。だからボランティアをしている人たちのように、わたしも人のために行動して、役に立ちたいと思います。【6年】

《うれしいお知らせ》

(〽)/最近、学校へおすす子の“温かい行動”についての情報が舞い込んできます。

- ・地域の方から「1年生数名が、地域のある場所でごみ拾いをしていた」
- ・遠足で訪れた施設から「4年生から送ってもらった訪問時のコメントがとても嬉しかった」

こんなお知らせを聞いたたびに、こちらも嬉しくなります。「よろこばせごっこ」をありがとう！

「全カ一心」カラー版は、都農小ホームページでご覧ください。

2つの宿泊学習で成長！

2週連続で、高学年は宿泊を伴う学習（例年であれば5年生は5月実施予定ですが、今年度は感染症状況で半年延期となりました）を行いました。さまざまな準備や学習をして当日を迎え、そのかいもあっていずれも充実した学びになったようです。保護者のみなさんには経費を含め、物心両面にわたりお力添えいただき、ありがとうございました。この行事を通して、成長した子どもたちを、今後とも“温かい関わりと見届け”でよろしくお願いいたします。

11/25～26⇒⇒【6年生：修学旅行】

- 1日目→鵜戸神宮、飫肥城下町（班別自主研修；四半的体験など）、赤江地区戦争遺構探訪
- 2日目→青島散策、陶芸体験（ピヨーン窯さん）、フェニックス自然動物園



全員元気に出発しました！



青空の下、鵜戸神宮で運玉体験をしました



郷土の偉人、小村寿太郎侯を学びました



創造力を生かし、陶芸にチャレンジ！

11/29～30⇒⇒【5年生：都農町3校合同 集団宿泊学習】

- 青島青少年自然の家で、規律・協働・友愛・奉仕の精神を高めてきました。



町内三校の小学校合同で行いました

フィールドアスレチック
スで協力しての活動



防災意識を具体的に学びました

みんな元気に帰校。それ
ぞれ成長しましたよ！

